

【東武野田線連続立体交差事業 工事説明会】

***2014年6月27日(金)

於：野田市役所8階大会議室***

参加者：90名位

前は、1工区を対象にした説明会でしたが
今回は2工区から5工区が合同でした。

- Q. 地下水を利用している家庭も多く影響がある
のではないかと。
- A. 地下水の調査もする。
- Q. 高架にした場合、これまでの音と振動にどの
程度の変化が想定されるか。
- A. これまでの経験値から、軽減されると予測し
ている。
- Q. この計画後に東日本大震災が発生したが、耐
震の基準については、いかがか。
- A. 阪神淡路大震災後に基準が設けられ、その基
準によって設計されている。
- Q. 家屋調査について
- A. 40メートル以内の家屋については調査する
が、心配であれば申し出てほしい。
- Q. これまでの工事区間の方
から、夜間を含み騒音が
すごかったと聞いている。
対応してもらいたい。
- A. 持ち帰り検討したい。
- Q. 工事期間中、電車のクラクションが大変うる
さく、精神的に限界だ。JRは無線を利用し
ていると聞くが、何とかならないか。
- A. 安全上、どうしてもクラクションは必要だと
考えるが、持ち帰り検討の余地があると思う。



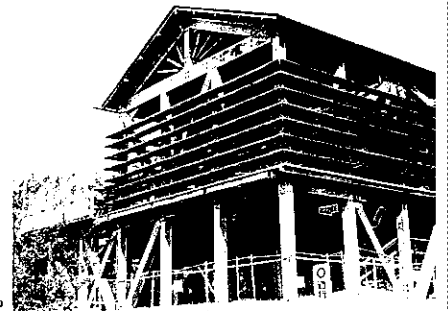
【とんとんみずき橋の 再築に向けた住民説明会】

***2014年6月21日(土)

於：みずき小学校***

参加者：38名

これまでの経
緯を資料中心に
説明し、時間の
多くは質疑応答
に当ててほしい
と住民側から要
望がありました。



橋は撤去され、あずまやだけ残る

- Q. 横断歩道はつけられないということだが、横
断を抑制させるための柵を延長する必要がある
のでは？
- A. 抑止力的な柵であり、費用の点からも延長は
考えていない。
- Q. 景観が悪い。
- A. 裁判中であるため、手を付けることはできない。
- Q. 四阿（あずまや）はどこからでも入れるため、
安全対策を十分に行う必要があるのでは。
有刺鉄線ではなく、他の方法はないのか。
- A. 既存のバリケードに加え、侵入防止策として、
有刺鉄線で囲う。夏休み前には作業を終える。
- Q. 有刺鉄線を乗り越えて入ってきてしまう人が
いる。
- A. その場合は、自己責任。
- Q. 維持管理をしていないのでは？シロアリが発
生したら大変な影響が出る。
- A. 定期点検を実施している。

今後予想される影響、被害については、深刻な
ケースもあるようです。東武鉄道が持ち帰り
とした質問やクレームが複数上がっていました。
それぞれの工区は、別々の建設会社が担います。
課題を共有して、問題解決のため早急な対応が
望まれます。

とんとんみずき橋が、無残な姿になって久しく
なります。裁判による解決を求め、UR都市機
構を訴えましたが、時間がかかることが予想さ
れます。それまでは市が責任を持って安全管理
を行い、経過とともに発生する問題にも応えて
いく必要があります。